

2022年10月14日
プレスリリース No.018-22

デザインとは - 人と人が生きていくための工夫と積み重ね -

「DESIGN MUSEUM JAPAN 集めてつなごう 日本のデザイン」静岡展

静岡文化芸術大学文化・芸術研究センターは、NHK 静岡放送局と共催で、「DESIGN MUSEUM JAPAN 集めてつなごう 日本のデザイン」静岡展(10月17日～10月21日開催、本学文化・芸術研究センター)を開催します。

■日本全国に点在するデザインを集めて

NHK では、2020年1月以来、「デザインミュージアムをデザインする」(Eテレ)という番組で、第一線で活躍するクリエイターたちに「デザインのミュージアムをつくるなら？」という問いかけをしてきました。その答えとして、NHKは「DESIGN MUSEUM JAPAN プロジェクト」として、クリエイターたちと日本各地に点在する素晴らしい「デザインの宝物」を探し、それらを番組や展示を通じてネットワークして日本全体で「デザインミュージアム」を浮かび上がらせています。

■「デザインは、人が人と生きていくための工夫」(乾久美子)

本展(静岡展)では、クリエイターとして建築家・乾久美子氏が参加。静岡県の「水」にまつわる「小さな風景」を探しました。富士宮の湧き水、伊豆の港、熱川の温泉など人々が大切にしている公共的な場所や習慣をめぐる風景を通して、「普通に生活している人の工夫の積み重ね」を浮かび上がらせます。

■開催概要

【会期】2022年10月17日(月)～10月21日(金)

注:10月18日(火)は休館

【時間】10:00～17:00 (入館は16:30まで)

【会場】静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

【入場料】無料

【主催】静岡文化芸術大学、NHK 静岡放送局

【協力】一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM

【問合せ】

NHK 静岡放送局 Tel. 053-657-4000(平日 9:30～19:00)



<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 地域連携室(担当:河西)
Tel. 053-457-6105 / Fax. 053-457-6123
Email. chiiki@suac.ac.jp

公式 Web サイト



NHK

静岡

**DESIGN
MUSEUM
JAPAN 展**

集めてつなごう 日本のデザイン

乾久美子 建築家

×

「小さな風景」

無名の工夫の集積にデザインを見る

2022年10月17日(月)–10月21日(金) ※18日(火)は休館

10:00–17:00 (最終入館は30分前)

静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1

入場無料 観覧自由

【主催】NHK静岡放送局、静岡文化芸術大学 【協力】一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM

【問合せ】NHK静岡放送局 054-654-4000 (平日9:30–19:00)

DESIGN MUSEUM JAPAN

集めてつなごう 日本のデザイン 静岡展

【会期】 2022年10月17日(月)–10月21日(金)

※18日(火)は休館

10:00–17:00 ※最終入館は30分前

【会場】 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

〒430-8533

静岡県浜松市中区中央2-1-1

「デザインは、人が人と生きていくための工夫」

乾久美子さんは、普段から「小さな風景からの学び」を設計の基本としています。人々が大切にしている公共的な場所や習慣など、「普通に生活している人が工夫の積み重ねで作っている風景」を見つけ、写真に収めています。リサーチの対象となるのは、田畑の農業小屋から、まちなかのちょっとしたベンチまで、ありふれた風景をかたちづくるものたち。何気なく置かれているゴミ箱の配置にセンスを感じたり、組み合わせられた色や素材の偶然のバランスに惹かれることがあったりします。気取らない地域の温かみや地元愛が〈共有財(コモンズ)〉となり、みんなで守り合うことで日常のかけがえない場所が「生きられた場所」となっていく。そこから得られる発見やひらめきが自らの設計のヒントになっていると乾さんは言います。

今回のデザインミュージアムジャパンで、乾さんは静岡県で〈水〉にまつわる「小さな風景」を探しました。富士宮の湧水、伊豆の港、熱川の温泉をめぐる風景を紹介します。

乾久美子

1969年、大阪府出身
建築家

乾久美子建築設計事務所代表、横浜国立大学都市イノベーション学府・研究院 建築都市デザインコース(Y-GSA)教授。青木淳建築計画事務所勤務を経て独立。社会における「コモンズ(共有財)」をはぐむ空間やきっかけづくりを大切に、「小さな風景からの学び」というリサーチの経験を生かしながら、コモンズの多様な可能性を探っている。代表作に「日比谷花壇日比谷公園店」、「共愛学園前橋国際大学4号館Kyoai Commons」、「七ヶ浜中学校」、「釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市児童館」、「延岡駅周辺整備プロジェクト 延岡駅前複合施設 エンクロス」「宮島口旅客ターミナル」などがある。



「DESIGN MUSEUM JAPAN」とは

NHKでは、2020年1月以来「デザインミュージアムをデザインする」(Eテレ)という番組を制作し、第一線で活躍するクリエイターたちに「日本にまだないデザインのミュージアムをあなたが作るなら、どんなものを作りますか?」と問いかけてきました。

その答えの中に、「日本各地に点在する、素晴らしい〈デザインの宝物〉を所蔵する館や組織をネットワークし、その集合体を〈デザインミュージアム〉と呼ぶ」というものがありました。

日本全体が〈デザインミュージアム〉になればよい、という提案です。

「DESIGN MUSEUM JAPAN」は、その提案を指針に、現代のクリエイターたちと全国で〈デザインの宝物〉を探し、それらを番組や展示を通じてネットワークして、日本全体にひとつの〈デザインミュージアム〉を浮かび上がらせようとするNHKの取り組みです。

全国47都道府県にある放送局のネットワークを駆使し、第一線で活躍するクリエイターたちとともに各地の生活文化のリサーチを行っていきます。

日本中の多くの人に、〈デザイン〉は、実はわたしたちのまわりにあふれていて、日々の暮らしに豊かさや活力を与えていることに気づいていただくこと。そして、今はまだ存在しない日本の〈デザインミュージアム〉の姿についての、ひとつの提案になればと願っています。

東京展情報

全国13の地域で13人のクリエイターがリサーチして見つけた日本各地の〈デザインの宝物〉を一堂に展示する企画展「DESIGN MUSEUM JAPAN展 集めてつなごう 日本のデザイン」を次の通り開催します。

【会期】2022年11月30日(水)–12月19日(月)

【会場】国立新美術館企画展示室1E

〒106-8558東京都港区六本木7-22-2

【開館時間】10:00–18:00(毎週金曜日は20:00まで)

※入場は閉館の30分前まで

【観覧料】無料

【主催】NHK、国立新美術館

【協力】一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM

あなたに届けたい「今」がある。静岡県内のニュースや旬の話題をたっぷりお伝えします!見逃した方や静岡県外の方のために、一部のニュース・特集をこのサイトに順次、掲載しています。



特集番組「DESIGN MUSEUM JAPAN」

【総合】12月10日(土) 午後3:05–3:50(予定)



NHKラーニングにて「地域×デザイン」動画 公開予定 こちらから

NHK ラーニング

気づく、見つけるは、楽しい。

